

平成 25 年度事業報告

平成 25 年度は、定款に定める公益目的事業（学術研究奨励事業）に基づき、第 51 回「学術研究奨励金」の贈呈及び第 2 回「三島海雲学術賞」の贈呈に係る学術研究奨励事業を行いました。

1. 学術研究奨励金（助成）事業

本事業は自然科学と人文科学の学術研究において、将来の発展が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

1) 対象分野

- (1) 自然科学部門 食に関連する農学、医歯薬学、理学、工学などの分野における学術研究
- (2) 人文科学部門 アジア地域を対象とし、哲学、史学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術研究（但し、日本を中心とする研究は除く）

2) 奨励金の内容

- (1) 種類 学術研究奨励金（以下「助成金」という）
- (2) 金額 総額 3,400 万円
1 件当り自然科学部門 100 万円、人文社会科学部門 70 万円
- (3) 採択件数 自然科学部門 20 件、人文科学部門 20 件 計 40 件（採択率 13.1%）
- (4) 期間 原則として、当年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

3) 応募資格

- (1) 日本在住の研究者（国籍は問いません。）並びに海外在住の日本人研究者（日本国籍を有する者。）
- (2) 年齢制限は有りませんが、大学院博士課程後期在学者（及びそれに相当する大学院生）、若手研究者及び女性研究者の積極的応募を期待します。
- (3) 応募する研究者個人に対する助成金ですが、共同研究者のあることを妨げません。

- 4) 応募方法 所属機関の長（大学の場合は科長、学部長）の推薦を必要とする。
- 5) 応募期間 毎年 1 月 10 日～2 月末日
- 6) 応募件数 自然科学部門 181 件、人文科学部門 125 件 計 306 件（前年比 110%）
- 7) 選考手続 本財団の学術委員会からなる選考委員会で、審査選考し、理事会の承認を経て決定
- 8) 助成金の交付 平成 25 年 7 月 5 日（金）、贈呈式 於）東京會館

2. 三島海雲学術賞（褒賞）事業

本賞は、財団設立 50 周年（平成 24 年）を機に創設し、自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的としています。

1) 対象とする学術研究分野

- (1) 自然科学部門 食の科学に関する研究
- (2) 人文科学部門 アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究

2) 賞の内容

- (1) 種類 三島海雲学術賞（以下「学術賞」という）
- (2) 金額 総額 600 万円 1 件当たり 200 万円
- (3) 受賞件数 自然科学部門 2 件、人文科学部門 1 件 計 3 件

3) 応募資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者

- (1) 45歳未満の者（平成25年4月1日現在）
- (2) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者（日本国籍を有するもの）

4) 推薦者

- (1) 本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関部局の代表者
- (2) 本財団の理事並びに評議員

5) 推薦期間 平成24年8月1日～9月30日

6) 推薦応募件数 自然科学部門15名、人文科学部門4名 計19名

7) 選考 本財団学術委員からなる選考委員会で審査選考し、理事会（平成25年3月27日）の承認を経て決定。

8) 賞の贈呈 平成25年7月5日（金）受賞式 於）東京會館

【累計実績】

「学術研究奨励金」交付累計 : 件数1,586件、金額10億4,827万円

「大学院博士課程奨学金」給付累計 : 延人数27名、金額2,600万円
(新規贈呈者累計17名、継続贈呈者累計10名)

「三島海雲学術賞」受賞累計 : 件数7件、金額1,300万円

贈呈額累計10億8,727万円

3. その他研究支援

- 1) 研究者 : 東京大学大学院総合文化研究科 准教授 村松真理子 先生
- 2) 研究課題 : 「ダンヌンツィオに夢中だった頃—ガブリエレ・ダンヌンツィオ(1863-1938) 生誕150周年記念展」協賛(*)
- 3) 研究助成金 : 30万円
- 4) 経緯 : イタリアを代表する詩人・小説家・劇作家ダンヌンツィオに宛てた三島海雲直筆の書簡がイタリア「ヴィットリアーレ」財団で発見され、上記展覧会（東大駒場博物館）で展示されるため協賛することとした。

(*) 「ダンヌンツィオに夢中だった頃—ガブリエレ・ダンヌンツィオ(1863-1938) 生誕150周年記念展」
開催 平成10月19日（土）から12月1日（日）まで
主催 東京大学大学院総合文化研究科教養学部 駒場博物館
その後、1月から京都大学総合博物館での展示がおこなわれた。

以上